文字式で 説明する 書き方

中2／解き方プリント 項目7／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 偶数は 2n、奇数は 2n＋1（n は 整数）。2つの 数は ちがう 文字で 表す

きまり② 連続する 整数は n、n＋1、n＋2。連続する 偶数・奇数は 2ずつ ふえる

きまり③ 和を 2( ) などの 形に 直し、「( )の 中は 整数 だから」と 結ぶ

れい (2m＋1)＋(2n＋1) ＝ 2m＋2n＋2 ＝ 2(m＋n＋1)。m＋n＋1 は 整数 だから 偶数

◯ 文字の 式を 使って 示す　　× 例を いくつか 調べて 示す

- 「文字式による説明」の 問題。答えを 四角に 式で 書く。文字は すべて 整数を 表す。
- ◯で かこむ 問題は 1つ だけ かこむ。
- 大問4は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ◯で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。
- 「整数 だから」の 結びが 無い 答案は「まちがい」。

大問1 文字の 式で 表す（連続する 数は 小さい 順）

(1) 奇数を、整数 n を 使って 表す

(2) 2つの 奇数を、整数 p、q を 使って 表す

(3) 連続する 2つの 偶数を、いちばん 小さい 偶数を 2n として、小さい 順に 表す

大問2 かっこで くくって 倍数の 形に する

(1) (2n＋1)＋(2n＋3) ＝ 4n＋4 ＝ 4(□)

(2) n＋(n＋1)＋(n＋2) を 計算して、「3( )」の 形に した 式を 書く

大問3 結びの 理由を ◯で かこむ

(1) (2p＋1)＋(2q＋1) ＝ 2(p＋q＋1)。2の 倍数と 言える 理由は どれ

p＋q＋1 は 整数 だから　／　2 が かけて あるから　／　p が 2 の 倍数 だから

大問4 まちがいを 直す

(1) 2つの 奇数を 2n＋1、2n＋1 と 表した

正しい　／　まちがい

正しい 表し方（すべて）

(2) 「m＋(m＋1)＋(m＋2)＋(m＋3) ＝ 2(2m＋3) だから、偶数 である」

正しい　／　まちがい

直す・書き足す ところ

見直し □ 別々の 文字 □ 偶数 2n・奇数 2n＋1 □ 2ずつ ふえる □ ( )の 中は 整数 まちがい( )問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「式の計算」のプリント一覧がひらきます

文字式で 説明する 書き方【こたえ】

中2／解き方プリント 項目7／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 偶数は 2n、奇数は 2n＋1（n は 整数）。2つの 数は ちがう 文字で 表す

きまり② 連続する 整数は n、n＋1、n＋2。連続する 偶数・奇数は 2ずつ ふえる

きまり③ 和を 2( ) などの 形に 直し、「( ) の 中は 整数 だから」と 結ぶ

れい (2m＋1)＋(2n＋1) ＝ 2m＋2n＋2 ＝ 2(m＋n＋1)。m＋n＋1 は 整数 だから 偶数

◯ 文字の 式を 使って 示す　　× 例を いくつか 調べて 示す

大問1 文字の 式で 表す（連続する 数は 小さい 順）

(1) 奇数を、整数 n を 使って 表す　**2n＋1**

(2) 2つの 奇数を、整数 p、q を 使って 表す　**2p＋1**　**2q＋1**

(3) 連続する 2つの 偶数を、いちばん 小さい 偶数を 2n として、小さい 順に 表す　**2n**　**2n＋2**

大問2 かっこで くくって 倍数の 形に する

(1) (2n＋1)＋(2n＋3) ＝ 4n＋4 ＝ 4(□)　**n＋1**

(2) n＋(n＋1)＋(n＋2) を 計算して、「3( )」の 形に した 式を 書く　**3(n＋1)**

大問3 結びの 理由を ◯で かこむ

(1) (2p＋1)＋(2q＋1) ＝ 2(p＋q＋1)。2の 倍数と 言える 理由は どれ

p＋q＋1 は 整数 だから　2 が かけて あるから　p が 2 の 倍数 だから

大問4 まちがいを 直す

(1) 2つの 奇数を 2n＋1、2n＋1 と 表した

正しい　**まちがい**

正しい 表し方（すべて）　**2m＋1、2n＋1**

(2) 「m＋(m＋1)＋(m＋2)＋(m＋3) ＝ 2(2m＋3) だから、偶数 である」

正しい　**まちがい**

直す・書き足す ところ　**2m＋3 は 整数**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) は 2n＋1（n＋1 は n が 1 のとき 2 で 偶数 になる ので × 。2n−1 も ◯）。(2) は 2p＋1、2q＋1（2つの 数は ちがう 文字。同じ 文字を 2回 使うと 同じ 奇数 しか 表せない）。(3) は 2n、2n＋2（連続する 偶数は 2ちがう。2n、2n＋1 は × ）。文字は n 以外でも ◯。

大問2 (1) は n＋1（4n＋4 から 4 を くくる。□ は 整数に なる 式）。(2) は 3(n＋1)（3n＋3 から くくる）。式の 順・かけ算の 書き方は ちがっても ◯。

大問3 正解は p＋q＋1 は 整数 だから（かっこの 中が 整数 だから 2の 倍数＝偶数と 結べる）。

大問4 (1) は 2つの 数を ちがう 文字で 表して 2m＋1、2n＋1（m、n は 別の 文字に しても ◯）。(2) は 「2m＋3 は 整数」と 書き足す（かっこの 中が 整数と 言わないと 偶数と 結べない）。